

令和元年度学校評価を踏まえた改善について

1 八川小学校の“強み”と“弱み”

強み

(1) 確かな学力の育成

- **少人数学級・チームティーチング・個別指導**を活かし、個に応じたきめ細やかな指導ができる。
- **「朝チャレ」**を通して集中力や基礎学力の向上を図るとともに、放課後の**「チャレンジタイム」**を通して、補充的・発展的な内容について個別指導ができる。
- 野菜づくりや米づくり、たたら体験学習等を通して、地域のひと・もの・ことと繋がり、地域と連携した**ふるさと教育**を進めている。
- 特別支援教育コーディネーターを核にして、**一人ひとりのニーズに応じた特別支援教育**を進めている。

(2) 豊かな心の育成

- **複式学級、かがやき班（異年齢グループ）**を活かして、年齢の垣根を越えた子ども同士の間関係が築かれている。

(3) すこやかな体の育成

- **青空タイム**における体力づくり、**ロードレース、元気アップカーニバル**等を通して、持久力、柔軟性、巧緻性が向上しつつある。

(4) 信頼される学校づくり

- 効率的な文書管理、**働きやすく学びやすい環境整備**を進めている。
- **各種たよりやブログ**を活用し児童の取組の様子等の情報発信を定期的に行っている。
- **幼稚園との密な連携**により、小一歩ロblemの軽減とより深い子ども理解ができている。

弱み

(1) 確かな学力の育成

- **語彙量の少なさ、言葉の使い方**の定着が十分でなく、子どもどうしの対話が深まりにくい。
- 夢やなりたい自分の姿を思い描き、すべきことに向かう姿勢の育成を図る**キャリア教育**が十分でない。
- **家庭学習の習慣**が定着していない児童が多い。

(2) 豊かな心の育成

- 全教育活動を通した子どもたちの**道徳性**の伸長、よりよい生き方を考える**道徳科**の授業づくりに改善の余地がある。
- 横田しぐさ7か条（あいさつ・返事、話の聞き方、時間遵守、感謝、思いやり、掃除、はきものそろえ）の中でも、特に**地域におけるあいさつ**が十分でない。

(3) すこやかな体の育成

- 自律的な**メディアとの接し方**が定着していない。
- 虫歯のある児童の割合、未処置数が多く、**歯磨き習慣**が定着していない。

(4) 信頼される学校づくり

- **小中連携**が十分に図られていない上に、連携の実態についても家庭、地域に伝わっていない。

2 来年度へ向けての改善点

(1) 確かな学力の育成

- **「授業」「教室環境」「人的環境」のユニバーサル・デザイン化**をさらに進める。
- 全国学力調査、県学力調査の結果を踏まえ、**読解力の向上**に重点的に取り組み、学力育成を図る。
- **家庭学習のあり方の見直し**と指導の工夫をするとともに、家庭との連携を進める。

(2) 豊かな心の育成

- 道徳教育の全体計画、年間計画（道徳の別葉を含む）の見直しをすすめ、**「考え、議論する道徳」を目指したさらなる授業改善**を図る。
- 横田しぐさ7か条のうち、特に「あいさつ・返事」に重点を置いた**生徒指導体制の充実**を図るとともに、家庭・地域との連携をとりながら、**「あいさつ・返事」をはじめとするふるまい向上**を進める。

(3) すこやかな体の育成

- 家庭と連携しながら**メディア教育**を推進し、テレビやゲーム、SNSとのつき合い方、基本的な生活習慣の定着を図る。

(4) 信頼される学校づくり

- 小中連携の効果を明らかにし、**積極的な情報発信**に努める。